

研究に関する情報公開について

課題名

転移性前立腺癌に対するアンドロゲン遮断療法の治療効果を予測する計算式の開発に向けた多施設共同研究

研究責任者

自治医科大学

研究目的

本研究の目的は本学の先行研究によって得られた転移性前立腺癌症例に対する ADT の耐久性を予測する計算式を外部のコホートを用いて妥当性の検証を行うことである。

方法

前立腺生検の標本パラフィン組織を利用してアンドロゲン受容体関連分子、幹細胞マーカー、前立腺上皮マーカー、前立腺間質細胞マーカー、コントロール遺伝子などのプライマーを用いて RT-PCR を行う。

予想される結果

ADT に対する治療効果継続期間と上記検査との相関関係が明らかとなり、転移性前立腺癌患者さんに対する ADT の耐久性が予想できる。

予測される危険・不利益

本研究により、患者さんにはいかなる不利益も危険もない。パラフィン組織は個人情報とは完全に切り離され、個人を特定することはできない。

問い合わせ先

赤心クリニック 泌尿器科 内島 豊 TEL049-242-8601